

7 「分かる」「できる」を実感できる授業づくりチェックシート



※巻末のQRコードからDLできます。

項目	具体的な実践内容	/	/	/	/
1 視覚的刺激量の調整	○黒板・黒板まわりがすっきりしている				
	○先生の机上・棚がすっきりしている				
	○教室内の棚・床がすっきりしている				
	○先生の表情が基本的におだやか				
2 聴覚的刺激量の調整	○先生の声量は使い分けられている(一斉・個別・注意等)				
	○人権感覚のある先生の言葉遣い				
	○授業中の静寂が存在する				
3 クラス内の理解促進	○「わからない」「教えて」と言える雰囲気づくり				
	○柔らかい雰囲気をつくる言語環境づくり				
	○ペア・グループ学習がスムーズに成立する学級経営				
4 ルールの明確化	○学習規律が存在する				
	○ルール定着のための指導が継続的になされている				
5 時間の構造化	○45(50)分の見通しが示せる指導計画を立てている				
	○45(50)分の授業の流れ(見通し)を視覚的に示している				
6 焦点化	○めあてが「焦点化」されている				
	○注目したくなる、考えたくなる等の工夫がなされている				
7 スモールステップ化	○漠然とした指示でなく具体的な指示になっている				
	○必要に応じて具体例・手本・ヒントの提示・考え方の共有等の工夫がなされている				
8 視覚化	○口頭だけに頼らない情報伝達の工夫(見える化)がなされている				
	○目で見て確認・理解ができる工夫がなされている				
9 動作化・作業化	○45(50)分間 座学にならない工夫がなされている				
	○体や感覚を使って理解を深める活動を取り入れている				
10 共有化	○子ども同士の活動が設定されている				
	○子ども同士で意見を交換する場が設定されている				
11 指示の出し方 関わり方	○具体的に・短く・肯定的に・視覚的に話せている(ぐみこし)				
	○否定的注目よりも肯定的注目を心がけている				
	○否定的関わりよりも肯定的関わりを心がけている				